

◆総合開発特別委員会

◇コロナ禍での米軍機訓練移転！

竹田 秀泰 委員長

8月下旬に実施の「米軍再編に伴う米軍機訓練移転」に対する委員会を閉会中の8月18日に開催しました。説明後の質疑では、コロナ禍における訓練移転の対策など活発な質疑がありました。

また、9月10日に開催した委員会については、米軍再編に伴う米軍機訓練移転に関連する4項目の報告と、国内における米空軍機からの降下訓練中止、陸上自衛隊による戦車等の公道自走訓練についても報告があり活発な質疑がありました。



日米共同訓練 F15戦闘機

また、中央官庁などへの要望項目の説明、さらに(株)苦東の経営概況について報告があり、企業誘致や分譲地の状況についても質疑がありました。

◆安全・安心及び市民ホールに関する特別委員会

◆市民ホールに関する特別委員会
新たな津波避難ビルと協定締結！

松尾 省勝 委員長

災害時における救護活動として柔道整復師との災害時応援協定の締結及び津波避難ビルとして苦小牧埠頭(株)の温度管理型冷凍冷蔵庫(1,700人の避難が可能)の使用についても災害時応援協定の締結について報告がありました。

また、(仮称)苦小牧市民ホール事業の進捗状況については、事業内容、施設概要、民間事業者の選定などが盛り込まれる「要求水準書」について、完成までのプロセス、意見交換の実施方法、コンサルタントの評点など幅広い質疑が行われました。

その他、令和3年4月に供用開始となる防災行政無線の設置に対する進捗状況について質疑がありました。



災害協定締結

令和元年度一般会計

決算審査特別委員会

松尾 省勝 委員長

一般会計決算審査では、延べ45名の委員から活発な質疑が展開されました。

質疑項目は77項目にもおよび、市民生活に直結する案件について、それぞれの視点で決算状況の確認やさらなる課題を明らかにした上で、決算を踏まえた今後の取り組みについて論戦が交わられました。決算審査は、市民が納めた税金が適切に執行され、事業の有効性を精査することなどが求められ、そこから得られた内容が今後の市政運営に大きく作用します。

新型コロナウイルス

の終息が見通せない中で、決算審査となりましたが、今回の議論を踏まえ、各委員から提案された意見や要望が、今後の事業に反映されることを期待します。



一般会計決算委員会

令和元年度企業会計

決算審査特別委員会

牧田 俊之 委員長

企業会計決算審査は、3特別会計、4企業会計の7つの会計について決算審査を行い、慎重審査の結果、全ての会計において全会派一致で認定しました。

今回の決算審査は1会計が閉鎖され7会計の審査となり、予定の日程で審議を終えることが出来ました。

審査内容については、各種健康の受診率、持続的な水道運営、病院経営の健全化、市場の民間活力導入など提案を交えた議論、さらに令和2年2月に北海道が発出した緊急事態宣言以降の各会計における新型コロナウイルス対策の影響など、76項目、延べ34名の委員から活発な質疑が交わられました。今後については、今回の議論が各種政策や事業に反映されることを期待します。



企業会計決算委員会